

占 春 会 報

第 18 号

発行 八尾市千塚2丁目95番地 大阪府立清友高等学校
占春会事務局 TEL (0729)41局3456

総 会
お知らせ

卒業生全員に呼びかけ!! 元 気 で 集 る う

と き 昭和63年5月22日(日)
PM 1:00~4:00

と ころ 母 校

第 一 部

1. 新入会員歓迎のあいさつ
2. 昭和62年度の会計報告及び事業報告
3. 50周年記念事業について

第 二 部

1. 吹奏楽部演奏(現役とOBで)
 2. 新旧会員の親睦(大食堂にてバイキング風)
・沢山召し上って下さい
 3. 会費 20年卒生~62年卒生迄 ¥2,000
63年新入卒生はご招待
- ◆創立以来50周年も迫っておりますので、記念行事等のお手伝い出来る方募ります
◆西澤先生、藪先生、原田彰先生、藤岡先生ご出席下さるそうです

礼儀正しく

咲く梅

占春会長 河合聿子

梅は寒い冬に耐え、立春の声と共に毅然として礼儀正しく咲く。仄かな香りを周囲に漂よわせて、清冽な水の流れと梅の花をシンボルとして校章に持つ、我が母校。清友高校も二年後には、昭和十六年創立以来、五十周年を迎えることとなりました。ひと口に五十年といいますが二分の一世紀を経る事であり、ひしひしと伝統の重みを感じている次第です。

占春会員の皆様お元気ですか。今年も五七七名の新入会員を迎えました。会員も一人一人近くなりました。最近、会合や、旅先等、思わぬ所でお互い話しているうちに、同じく清友の卒業生であったり、懐かしい先生方のお話が出て、旧交を暖めたりする事もあるのです。縦の絆、横のつながりの広さを感じられるようになりまして。このように清友の絆で結ばれている会員の皆様、それぞれの立場でどうぞお元気で頑張ってください。

そして母校、清友高校への暖かい想いを忘れずに、共に清友高校

の発展を願って行きましょう。最後に会報発行にお手伝い下さいました役員の皆様に紙上を借りまして厚く御礼申し上げます。

63年度新入会員

あいさつ

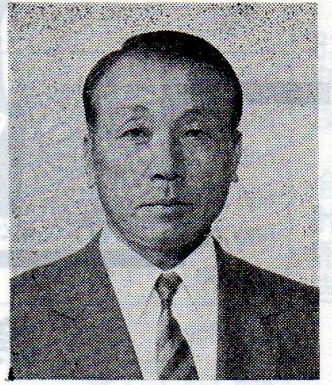
「よろしく

お願いします」

63年卒 松本 利之

このたび伝統ある清友高校の占春会に仲間入りさせて頂いたことになりました。私達九期生全員にとって大きな喜びです。しかしまだまだ人間的にも精神的にも、子供であり、なにかと迷惑をかけることと思いますが、よろしく願います。

昭和十六年以来、既に一人一人の会員がおられると聞いておりますが、おそらくいろいろな所で活躍のことと思います。私達がこれから社会に出ましたときに思わぬところで会員の皆様にお目にかかることもあると思いますが、どうかそのときには、未熟な私達により厳しくお励ましをいただきますようお願い致します。お荷物にならないよう私達は精一杯ついて行きたいと思っております。



ご挨拶

学校長

吉岡一真

占春会の皆様、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年四月、前校長三富隆太郎先生のとを受け、本校に赴任いたしました吉岡でございます。浅学非才の身ではありますが、本校の充実・発展に専心努力いたす決意であります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

占春会の皆様方には、常に暖かいお励ましや、ご援助をいただきまして有難うございます。母校を愛する皆様方の熱いお心に感激いたしております。

さて、皆様方は、清友高校卒業以来、それぞれの分野でご活躍のことと存じます。現代は予測しがたい不確実性の時代であります

が、バイタリテイに満ちた清友精神で乗り切っていただきたいと思ひます。バイタリテイの根源は、精神的な若さをもつことでもあります。

アメリカの心理学者で、詩人であるサムエル・ウルマンの「青春」の譜には次のようにあります。

「青春とは、人生のある期間ではなく、人の心の持ち方をいう。

バラの面差し、紅の唇、しなやかな肢体ではなく、たくましい意志、豊かな創造力、燃える情熱をさす。

青春とは、怯懦を退ける勇氣、安易を振り捨てる冒険心を意味する。

時には、二十歳の青年よりも、六十歳の人に青春がある。歳を重ねただけで、人は老いない。理想を失う時、初めて老いる。希望ある限り若く、失望とともに老い朽ちる」

高校時代に抱いた情熱のままにいつもみずみずしい青春時代であり続けて下さい。皆様方と一緒に私もまた、自己研鑽に励みたいと思ひます。

清友高校も、今年で府立移管十年、そして間もなく創立五十周年を迎えようとしております。本校のますますの発展のために、今後ともよろしくご支援、ご協力下さいますようお願い申し上げます。



教頭 福田定秋

卒業生の皆様お清栄にてご活躍のこととぞんじます。母校のたよりと昭和63年度の主な行事をお知らせいたしますので、機会があらましたならばぜひ学校に立ち寄り、ご高覧のうえ、ご指導、ご助言を下されば幸甚に存じます。多数のご来校を心よりお待ちしております。

行事 63年2月25日 卒業式
2月27日～3月2日
2年生妙高高原スキー場
4月8日 入学式
7月～8月
夏季休暇中の各クラブ合宿日程は予定ですが、連絡がございました際にはご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。

先輩達が楽しみにしていた日時は今のところ未定です。

クラブ活動の状況

どのクラブも毎日熱心に練習を行っております。62年の主な成績を報告しておきます。

- ソフトボール部 府下16位
- 硬式テニス部 府下千二百名中36位
- 陸上部
- I・H・大阪予選百十米ハ一
- ドル準決勝進出

家庭科クラブ

全国大会発表で準優勝

演劇部

ブロック努力賞(三位)

以上のような活躍がありました。他のクラブも負けじと頑張っています。先輩達の盛大なる御声援ご協力のほどお願いいたします。

◆先生方の近況◆

- ご退職(昭和62年3月31日付) 三富隆太郎校長先生
- ご転出(昭和62年3月31日付) 太田和幸(国語) 八尾高校へ
- 石田喜光(社会) 鳥飼高校へ
- 福井康夫(数学) 大東高校へ
- 姉崎 誠(体育) 芥川高校へ
- 土井絳雄(英語) 羽曳野高校へ
- 八木庸輔(美術) 島上大冠高校へ
- 着任(昭和62年4月1日付) 山本 裕(国語) 加納高校より
- 岸口好広(社会) 桃谷高校より
- 金井 年(社会) 玉川高校より
- 三宅 誠(体育) 羽曳野高校より
- 美津島良恵(英語) 枚方高校より
- 木村桂子(国語) 新採用
- 長井典子(数学) 新採用
- 広橋王樹(美術) 新採用
- 藤岡正行(国語) 常勤講師

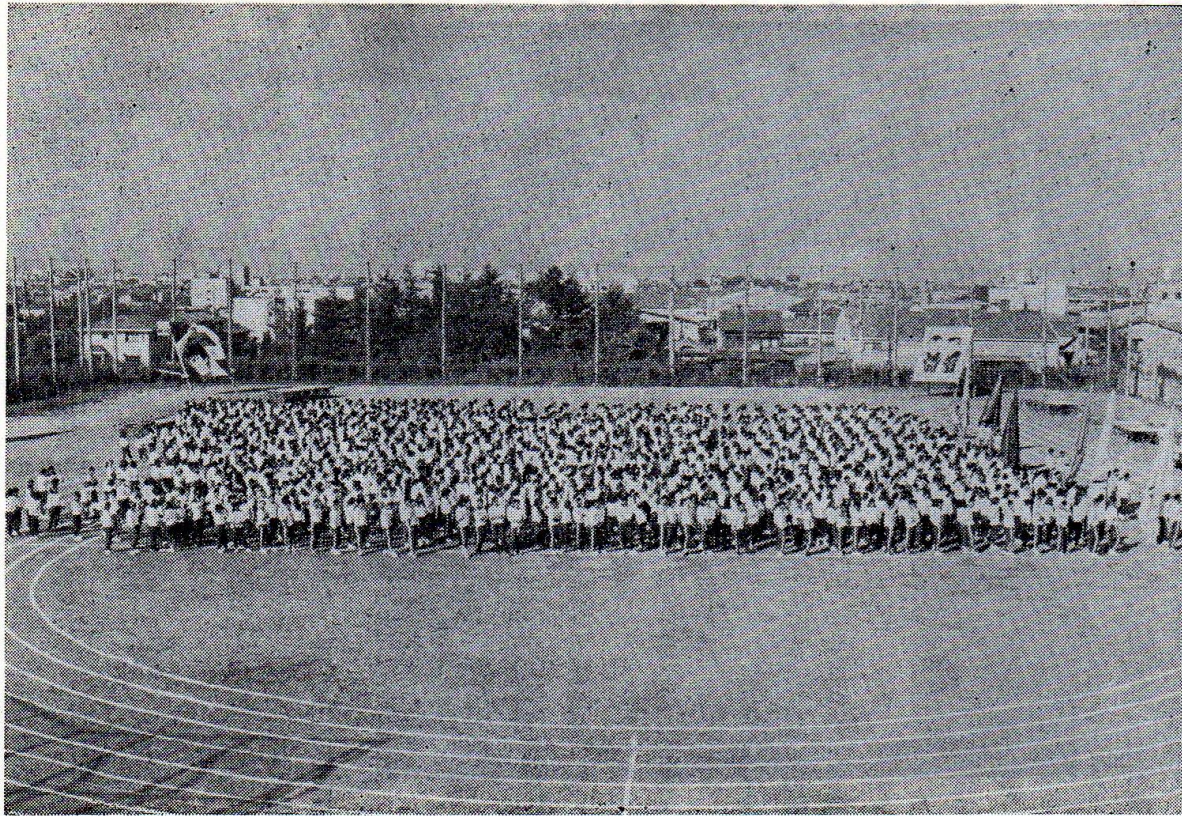
◆祝 朗 報◆

- ご結婚 美津島良恵先生5月 ご出産
- 松本泰子先生二男3月
- 加藤 都先生二女6月
- 永見慶子先生長男7月
- 五十嵐勝彦先生三男7月
- 中山耕一先生長男9月
- 細田 隆先生長男10月
- 八倉千佳子先生長男10月
- 小丸善明先生二女11月

昭和62年10月14日

《体》《育》《祭》

母校運動場に於て



三富隆太郎校長先生

ありがとうございます

ございました

昭和五十九年四月に清友高校へ
学校長として御着任下さいました
三富先生は、昨年六十二年三月で
退職されました長い教員としての
年月を最後は清友高校の学校長と
して重責を果され、教員生活に終
止符を打たれました。

今は静かな毎日を送られて、お
好きな読書をされたりとかで、お
すごしの様子です。

御在任中には、占春会に随分お
力添え下さいました。一番大きな
功績を残して下さいましたのは、
名簿を作成する時でございました。
先生のお「添えや、藪先生、
役員の方々と一丸となって出来
上りましたのが、あの立派な名簿
です。本当に三富先生ありがとうございます
ございました。総会にはいつもご
出席下さり、お言葉を頂き、二部
の催しには、『会議は踊る』を歌
って下さいましたのが昨日のこと
のように思います。どうぞ、いつ
までもお元気でいらっしやいます
ように、総会には又、ご出席下さ
いませ。

(役員一同)

後援会だより

今年一年母校での主な行事

家庭科クラブ全国大会

第二位!!

昭和62年夏に、取り組んでから
三年がかりで、家庭科の杉本英子
先生と共に、完成しました。

ある時は医師に、薬剤師に又、
昔のおやつについては、おばあさ
ん達に、添加物、着色料について
勉強している小父さん等々……机
の上の勉強だけでは出来ない事を
彼女達は、コツコツと出掛けて原
稿を作成させ、そして研究発表に
添ってスライドまで映写したので
す。そして第二位に入賞。副賞と
してトロフィーと輪島塗りのパネ
ルをいただいたそうです。

最近のおやつは糖分とりすぎだ
そうで、お子達のおやつ見直して
下さい。

奥田先生全国教職員

剣道大会で第三位

また、体育の奥田先生は去る八
月、岡山県で行われた全国教職員
剣道大会で第三位になられました
た。二年担任として多忙な中、練
習不足を気力で補つての榮譽で
す。

中山先生日展入選

(二度目)

書道の中山先生の作品「夢現」
が第十九回日展に入選されました。
(おもひねのゆめよりほかに
みちもなきころのかよふまぼろ
しもかな)と(白露にかぜのふき
しくあきののはつらぬきとめぬた
まぞちりける)の二首の歌をあら
わしたものです。

吹奏楽部 第一定期演奏会

東大阪市民会館

在校生、先生方のご活躍を報告
致します、
今回のご寄付、有難うございま
した。

ご寄付頂いた旧職員の先生方

三富隆太郎、原田彰、相益代、安
田圭造 (敬称略)

今後も続けて後援会にご加入を
お願いしたいと思います。

入会金一口 二、〇〇〇円以上
郵便局 振替口座

大阪5 212221

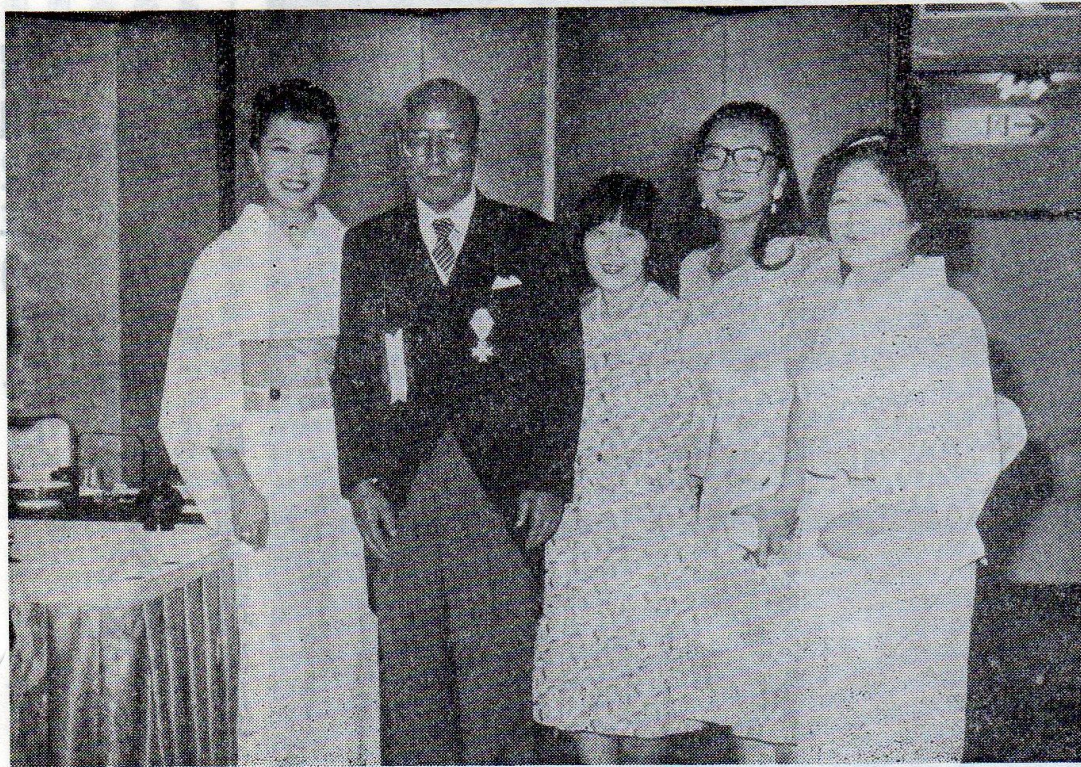
清友高等学校後援会までお振り
込み下さいませ。卒業年度、氏名
を書きいれて下さい。
宜しくお願い致します。

(後援会書記 鮎谷欣子)

富田先生 叙勲おめでとう

中 易 敬 子

三代目校長、富田八郎先生（昭和40年～50年）が、62年春、勲四等瑞宝章、叙勲の栄に浴されました。おめでとうございませう。先生の栄誉を讃え7月25日に關清友高校に10年、子女の教育に力を注いで下さいました。



い先生を囲んでの祝賀会が催されました。

暑い時とて、少々体調くずし気味、とおっしゃりながらもお元気なお姿で、本当に嬉しい事でした。

小学校を皮切りに八尾中（現八尾高）、八尾市役所、公民館長、教育次長などを経て、40年から當清友高校に10年、子女の教育に力を注いで下さいました。

45年ごろから府立移管問題が起り、八尾市、大阪府への働きかけ陳情など折衝を重ね、占春会、PTA、清苑会が一丸となって校名校章を存続させる、など共に苦勞した同志でもあります。

温厚ながら毅然とした態度、ホントの意味の教育者だと思っております。

今回の叙勲誠におめでとうございませう。私達も誇らしく思っております。

東生駒山麓の湧水こそは、清水谷に発し、清友に花咲く約束の地である”との先生のお言葉、嬉しく有難く頂きました。

ますますお元気で下さいます様、心からお祈りしております。

（注）清友はS16年、現清水谷高校の同窓会清友会が、創立40周年記念事業として、設立された学校です。

御主人は、結婚式の費用も、自分でご用意され、生活をする家や、道具も、みなそろって、娘さんには、何も荷物はいらないという事だったそうです。

どちらのご両親にも、迷惑をかけず、自分の力で何もかもされる

卒業生通信

娘の結婚

36年卒 小寺 康子

私達の子供も、もうそろそろという年頃になりました。

36年卒旧3Cのクラスのトップを切って、62年4月5日にお見合いをし、7月4日に娘さんを嫁がせた、大橋公子さんに、お聞きした事を記しました。

主人になられた、兵庫医科大学病院にお勤めされ、そこで、栄養士をされています。

32歳の好青年です。娘のレイ子さんは、22歳です。年は少し離れていますが、年齢差がわからない程、若々しい青年です。

御主人は、結婚式の費用も、自分でご用意され、生活をする家や、道具も、みなそろって、娘さんには、何も荷物はいらないという事だったそうです。

どちらのご両親にも、迷惑をかけず、自分の力で何もかもされる

というのは、立派だと思いましたが。お見合いした時に、二人共「この人だ」という、インスピレーションが伝わったそうです。

母親の公子さんに、「娘を嫁がせたお気持ちは、どうでしたか」という質問に、

「嬉しいようではなかったです。当分は、夜になると娘のことを思い出していました。」と、父親は、「とうとう取られた。」と言われたそうです。

一方、娘のレイ子さんは、幸せ一ぱいで、ご両親の事は、あまり思い出さなかったそうです。娘を嫁がせるのは、大変だと思っている反面、世の中には、こんな自立の出来る男性もおられるのには、感心致しました。

自分の子供にも、こんな良い条件の人が現われるのを期待したいと思えます。

レイ子さん、いつまでもお幸せに。

二十五年ぶりの同窓会

37年卒 西野 治子

みなさんお元気で過ごすごしのこ
とと存じます。卒業して二十五年
まさに四半世紀を経て、私共、昭
和三十七年卒生は、この秋同窓会
を開催させていただきました。

清友高校を卒業して、それほど
まで年月が経っていたとは、自分
では信じられないことですが、自
分のムスメ時代そっくりの子供の
なまいきな姿をみて、冷静に逆算
してみますと、やっぱりもうそん
な年月が経過したのだと、納得す
る今日このごろです。

子供と一緒に遊園地に行き、楽
しい思い出を作って家に帰ったあ
る日、元気にとびまわっていた姉
が、脳溢血でたおれ、そのまま不
帰の人となってしまった秋の日の

つらい思い出。主人と一緒に関つ
ばめ温泉で三メートルに近い雪の
中に滞在し、スキーツアで赤倉温
泉におりてきたなつかしい楽しい
思い出。

そんなことを考えながら、自分
の二十五年をふりかえってみまし
たが、二人の子供の成長と仕事の
いそがしさに何とか負けないよう
に、一生懸命頑張る毎日のつまか
さねであったように思われます。

そんな時間を経て、二人の子供が
まがりなりにも順調に育ち、一人
前のことば使いが出来る様になっ
たと思つたら、今度は何かものわ
すれをする様になった自分を発見
して、人生にチョッピリあせりを
感じる様になってきております。

こうして原田先生の心あたたま
る熱心なご援助で、記念すべき年
に卒業二十五周年記念文集「絆」

の発行と、この様に楽しい同窓会
を開催することが出来、元気な皆
さんのお顔を拝見いたしました、
これからも、しっかりと頑張らねば
と心をあらたにしております。

これからは、さらに年月が経つ
のは早いと思いますし、これだけ
はどうしようもありませんが、気
持だけは若々しく、自分を大切に
しながら、健康に気をつけて、し
ぶとく生きてゆきたいと思いま
す。最後に、おいそがしい中御出

絆の編集

クラス幹事

- A組 奥山 裕子
- B組 大石 孝美
- C組 西野 治子
- D組 永田 英理

▼文集に寄稿下さいました先生方のことばより▲

加藤 秋子先生 青春とは心の様相をいう。

南條 敏子先生 東海道五十三次の距離をプールで泳いでいます。

内田 孝雄先生 開き直りの挽歌(コペルニクスの発想の大転換)

宗平大三郎先生 篠山AKLマラソン完走者九四三〇人中四一〇六番

でゴールイン。お見事!

小西 康弘先生 往復三時間かかる通勤のハードな時間の余暇に菊つ
くりを始められました。

敏 喜好先生 三十七年ぶりに中学校の学年同窓会を持たれたそ
うです、先生の中学校時代を拝見したいものですね。

母校へは機会があればいつでもお越し下さいと書い
て下さっています。

原田 正憲先生 自分自身の信念のもとに正当書道を更に徹底してつ
づけてきました。

原田 彰先生 二十一世紀を担う世代の育成に母親として頑張つて
下さい。人の気持を理解出来、自然を大切にする倫
理観を育てたいものです。

(先生には絆の文集作成に大変お世話をかけさせてしまいました。あ
りがとうございました)

春から初夏に

かけての健康メモ

● 大いに歩きましょう

暖かい絶好の散歩シーズンにな
りました。歩くことはムリのない
全身運動で、血行をよくし、気分
転換にもなる最良の健康法、ブラ
ブラ歩きは駄目ノ男性なら一分間
に一〇〇メートル、女性なら八〇
メートルのスピードを目安にしま
しょう。

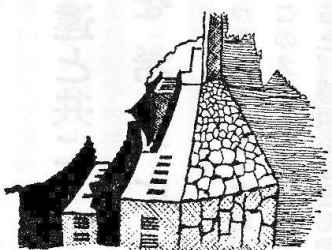
● スタミナ不足を感じたら

あお向けに寝て、両手をへソ下
三センチぐらいのところを組み、
鼻で息を吸いこみます。吸った息
を静かに吐き出しながら、お腹を
グツと上に突き出すように全身を
持ち上げます。後頭部、肩、カカ
トで全身をささえ、出来るだけ長
くつづけましょう。

絆

卒業二十五周年 記念文集

大阪府立清友高等学校
(昭和37年卒業)
昭和62年11月8日



吹 奏 楽 部

第1回 定期演奏会 成功に終る!!

谷 村 淳 司



吹奏楽部では、かねてより念願の定期演奏会を、多くの方々のご協力を得てOB部員一同、心を一つに取り組み昭和六十二年四月十一日東大阪市民会館大ホールにて第一回目を無事幕を閉じることができました。

出演者総数は五十名近くで講成は三部からなり、第一部はコンサートマーチ・テイクオフで幕が開き、二部は恋のカーニバルなど、皆様おなじみの楽しい曲を四曲、衣装も真っ赤なオリジナルトレーナー姿で、三部は吹奏楽のための第三組曲というバラエティにも富んだ。しかし、客足が悪く二百名程度だったのが非常に残念でした。

計画を立てましてより約半年、清友高校吹奏楽部 第二回定期演奏会 ご案内

OBも参加する都合上、日曜日も練習練習で、部員は休みなしという状態で進めながら、会場探しから始まりましたが、半年前でもうすでに思う日思う所の予約が取れず苦心しました。それから、曲目の決定、プログラムの図案考慮印刷、案内状の印刷・発送、シナリオの作成、満出考慮、衣装考慮と山ほどする事があるのです。こうして半年が過ぎ、満足のゆくまで練習ができないまま本番をむかえましたが、何はともあれ念願の定演を大きな舞台でやる事ができ、皆様方に心ゆく演奏をおとだけすることができたできないは別として、部員・OB・顧問共に今までの苦労はいっぺんにふっとび、喜びをかみしめました。これもひとえに、御協力下さいました皆様方のおかげと心より感謝致しております。

とき 昭和63年5月1日(日) PM 2時開演
ところ 柏原市民会館大ホール
入場 無料

また逢おうぜ 次は全員で!!

62年卒 高宮 信幸

この夏に六十二年卒、三十八のメンバーで海に行ってきました。卒業してわずか半年たらずというのに、みんなと顔を合わせた時は、何年ぶりに会ったような気がしました。それと言うのも、半年の内にみんなが変わったように思えたからです。それもそのはず、卒業してからはそれぞれがそれぞれの道を進み始めたからでしょう。ある者は進学し、ある者は社に。

でも二言三言と話し出すと、あの頃と変っていない部分を持っていたんだなあと分かるよと心のかたかた溜め息をついた自分が今になって思い出せばおかしく思いません。久々にみんなと会えた嬉しさか、口を突いて出てくる話もほどこほどに、全員揃ったところでいよいよ出発。初心者マークを六つ連ねて走り始めた連中は道に迷いながらも無事に目的地へ辿り着きました。海へ出ると初めに受けた、大人ぽくなったという印象もどこへやら、みんな小っちゃな子供のようにキヤツキヤツとはしゃいでいました。(一番はしゃいでいたのはなにを隠そうこの私。)

62年度 会計報告

入		支		出	
前年度繰越金	2,154,134	定期	期費		2,800,000
入会金	2,403,273	慶弔	費	124,500	
前年度入金残金	25,908	通	費	2,000	
雑収	1,103	事	費	57,885	
		会	費	29,050	
		記	費	55,000	
		念	費		
		植	費		
		樹	費		
合 計	4,584,418	合 計	計	3,068,435	
		高	残	1,515,983	

占春会報 購読希望者へ

TEL〇六一九七二一七〇七
一冊分送料込 二五〇〇円

昭和49年以前の卒業生については「占春会報」購読希望者は「賛助金」一口三〇〇〇円以上お願ひしてきました。引き続き受け付けております。未納の方は左記口座へお振込み下さいませ。

大阪33204

郵便局

占春会

(振替口座)

(一口3000以上)

卒業年度をお忘れなく!!

電話番号をお忘れなく!!

◎会報十八号の送料、印刷費、総

会費(五月二十二日の分)は残

高より支払い致します。

本部会計 辻本恵美子

会計監査 小林 慶子

右の通り、正確であることを

報告致します。

昭和六十三年三月三十一日

●名簿ご入用の方は

左記まで

〒537 大阪市東成区東小橋3-1-2

―26 アンドレス美容室

柳生 和子(名簿係)

TEL〇六一九七二一七〇七

一冊分送料込 二五〇〇円

購読希望者へ

昭和49年以前の卒業生につい

ては「占春会報」購読希望者は

「賛助金」一口三〇〇〇円以

上お願ひしてきました。引き続

き受け付けております。未納の

方は左記口座へお振込み下さい

ませ。

大阪33204

占春会

(振替口座)

(一口3000以上)

卒業年度をお忘れなく!!

電話番号をお忘れなく!!

会報十七号に掲載以後に賛助金

の御協力を頂いた方

昭和二十年卒

山中靖子

昭和三十九年卒

山本慶子

前年度記載洩れの方

昭和二十四年卒

正野素壽美(佐野)

山下小夜子(高井)

〒631 奈良市中山町西一八六八

―139 小寺 康子

電話〇七四二一四七〇五二一番

☆直接現金を係へ送附して下さい

ても結構です。

清友高校同窓会

占春会のいわれ

同窓会の名を「占春会」といいます。昭和二十年三月、第一期が卒業した時、初代校長生田鹿之丞先生はその慶びを次のような詩によまれました。

浅深紅白満庭梅

教養多年一様開

莫道園中才子少

百株皆是萬葩魁

多年の教養が実を結び、一様に美しく巣立っていく卒業生達を、春の魁として紅白とりどりに花開く梅花に擬え、祝福されたのであります。

ついでこの梅花にたとえた才子の集りを「占春会」と命名されました。その名は、清友の象徴である梅の花に因んで、次の水戸烈公の梅花の詩の第四句より採られたのであります。

弘道館賞梅花

徳川 斉昭

弘道館中一樹梅

清香馥郁十分開

好文豈謂無威武

雪裡占春天下魁

最初に「莫道園中才子少」とよまれた卒業生は、今では多くの男子の才子を混えて愈々盛大になりつつあります。

おります。今後も期待していま

☆各学年、回期代表に告ぐ!! 回

記代表会を往復ハガキで出欠を

お願いしましても「なしのつぶ

て」で往ったきり。自分の役目

を考えていただきたい。

退めるなら退める、交替なら

交替とはっきりして欲しいもの

です。

編集

後記

記

☆十八号には若い男子卒業生の原稿もあり、大変うれしく思っています。

☆従来のクラス会だよりを「卒業

生通信」としました。クラス会

だけのお便りでなく、近況報告

・随筆・詩・短歌・俳句等、内

容をたのしいものにして行きた

いと思っています。ご協力を!!